

進路室だより

(第8号)

令和3年12月21日 発行

長く感じられた2学期も、振り返ってみるとあっという間。特に3年生は入試や就職試験の準備に大忙しだったと思います。年明けに実施される大学共通テストに臨む人は、1問でも多く解けるよう、冬休みの間の時間を上手に使ってください。

就職状況 — 就職決定者は学年内比率 22.3% —

前号でもお伝えしたように、今年度の民間企業への就職内定率は100%です。また、公務員試験でも内定者が出ています。早めに情報を収集し、問題集等にくつつと取り組んでいくことが大切なことがわかります。

自衛官一般曹候補 1名
福島県警 3名



進学状況 (令和3年12月10日現在)

四年制大学41名、短期大学12名、専門学校72名合格内定!!

3年生の進学希望者のうち125名が入学試験を突破し、合格を勝ち取りました。学年全体の比率でいうと、四年制大学が21.8%、短大が6.4%、看護学校を含めた専門学校が38.3%です。

また、国公立大学の発表が12月の初旬にあり、会津大学短期大学部の食物栄養学科・産業情報学科・幼児教育学科に1名ずつ合格者が出ました！なお、12月21日には国公立合格内定者講話も予定されています。

現在は推薦入試が一段落し、来月以降に一般選抜試験や大学入学共通テストが予定されています。大学入学共通テストは、国公立大学を目指す受験生は必ず受験しなければならない全国共通の試験です。私立大学や短期大学の多くも、この試験を利用しています。本校では、推薦で合格した生徒も、学力を高めて四年制大学へ入学できるよう、共通テスト受験のための対策講座を開いています。

以下に合格者の声を掲載しました。(1 試験に向けて取り組んだこと 2 高校生活で心がけてきたこと 3 後輩へのアドバイス という3つの質問をしました。)

○ 医療創生大学 健康医療科学部 理学療法学科

- 面接は数人の先生方をお願いして、様々な質問に対応できるようにしました。口頭試問は、何度も何度も問題を解き、完璧に暗記しました。
- 正直、私は勉強よりも部活動に力を入れていました。面接では部活動について自信を持って話すことができたので、3年間部活動を続けることは大切です。
- 1回1回の考査の勉強を怠らさずに行い、きちんと評定を取っておくことが大切だ

と思います。私は2年生の時に勉強と部活動の両立ができず、評定が下がってしまい後悔したので、後悔の残らないように両立して頑張ってください。

○ 会津大学 短期大学部 幼児教育学科

- 試験では小論文と面接(プレゼンを含む)があったので、小論文は過去問などを何度も書き、面接やプレゼンは先生や友人に何度も見てもらいました。また、小論文や面接で自分の考えを述べられるように自己分析をしたり、時事問題をチェックしたりしました。
- どのような進路にも対応できるように評定5を目指して勉強に取り組み、ボランティアなどの校外活動にも積極的に参加しました。そして、学校をできるだけ休まないように健康管理を心がけてきました。
- 自分の進路がまだ決まっていないという人も多いと思います。そんな人には自己分析やボランティア活動をすることをおすすめします。自己分析から自分に合った進路が見えてきたり、ボランティア活動から自分の新たな一面ややりたいことが見つかったりするかも知れません。まだ時間があると思わず、早いうちから進路のことをぜひ考えてみてください。

○ ポラリス保健看護学院 保健看護科

- 入試の内容は、面接、小論文、数I・A or 英I・IIのどちらか1つ選択で、私は、数I・Aを選択しました。数I・Aは7月から勉強を始め、夏休みまでは1年生の時に使っていた数Iの教科書を繰り返し解き、基礎を固めました。夏休み明けからは応用数学の授業で使っていたテキストを繰り返し解きました。小論文は週に2回の提出を目標に書き、添削していただきました。ポラリス看護学院の面接は毎年形式が変わり対策が難しいため、グループ面接・集団討論・他大学の過去の面接など、いろいろな面接を先生方に協力いただいて練習し、自信をつけました。
- まずは評定をあげるために、学期ごとに行われる定期考査で良い点数を取るために勉強しました。自分に合う勉強法をたくさん試しました。そして勉強だけでなく、部活動を3年間続けたり、委員会活動でも積極的に役職に就いたり、ボランティア活動にも積極的に参加したりなど、面接や志願理由書などで言えるようにするために、何事にも自分から取り組むことを心がけ、3年間生活しました。
- 当たり前ですが、たくさん勉強することが大切です。そして、最も大切なことは楽な道に逃げないことです。楽な道に逃げるのが悪いわけではありません。しかし、少し背伸びして目標を設定し、目標達成のために努力することで、楽をしていたら味わえない達成感や、壁にぶつかったときにも乗り越えていける大きな自信が得られると思います。今からできることとして、私が実際に早く始めれば良かったと少し後悔したのは知識を増やすことです。日本の政治や医療問題、環境問題について知識を増やすことは小論文や面接でとても大切なことです。どんな問題がきても答えられるように、様々なジャンルのニュースを調べておくとういいます。第一志望の学校に合格でできるよう頑張ってください。応援しています。